

様式 2

令和 8 年度第 1 回 富士見市立南畑小学校 コミュニティ・スクール協議会 議事録						
日 時	令和 8 年 5 月 2 2 日 (金)		開会	午後 9 時 3 0 分		
			閉会	午後 1 1 時 0 0 分		
場 所	富士見市立南畑小学校 2 階 校長室					
出 席 者	委 員	中委員	新井藤一 委員	秋元委員	堤委員	松下委員
		○	○	○	○	○
		村山委員	落合委員	須藤委員	新井紀子 委員	齊藤委員
		欠	○	○	○	○
		矢場委員	赤間委員			
		○	○			
	事 務 局	職 員 並木				
公 開 ・ 非 公 開	公開（傍聴者なし）					
議 題	(1) 校内視察 (2) 富士見市教育委員会挨拶・委嘱状交付 (3) 校長挨拶 (4) 委員の自己紹介 (5) 会長・副会長の選出 (6) 学校経営方針等についての説明 (7) 情報交換					
議 事 内 容						
(1) 校内視察 (2) 富士見市教育委員会挨拶・委嘱状交付 ・コミュニティ・スクールの趣旨についての説明 ・委嘱状の交付						

(3) 校長挨拶

(4) 委員の自己紹介

(5) 会長・副会長の選出

(6) 学校経営方針等についての説明

【校長より説明】

- ①児童数・学級数
- ②目指す児童像
- ③学校教育目標
- ④教育の基本方針
- ⑤基本理念

【協議内容】

委員：説明にあった下駄箱の靴そろえは、自分の靴をそろえるのか、他人の靴もそろえるのか。

校長：自分の靴をそろえることを指導している。

委員：具体的な指導内容として挙げるほど、靴そろえが徹底していないのか。

校長：徹底していないから靴をそろえるということではなく、靴をそろえるという行動から、自分も他人も大切にする姿勢を育てていくねらいがある。また、靴そろえは5秒でできる小さな努力であり、成果が目に見えやすい。自分たちの成長を実感できるのではないかというねらいもある。

委員：「いのち」という視点での説明はあるか。

教頭：「いのちの授業＋（プラス）」という取組を南畑小でも今年度から始めた。（口頭にて概要を説明。）

委員：9年間のカリキュラム内だという話だが、中学校までつながる取組なのか。

教頭：中学校区で小中連携を図っていく中で、「いのちの授業＋（プラス）」についてもつなげていく。

委員：災害時などに、そういった意識が浸透した子どもたちがいることは心強く、素敵な取組だと思った。

委員：小学校は学年差が大きいので、発達段階に応じた具体的な指導方法もこれから考えてほしい。

教頭：指導にあたり、まずは教員の意識付けが重要だと考えている。

(7) 情報交換

- ・南畑地区社会福祉協議会の取組として、南畑全体の清掃活動を毎年行っている。町会含め、親子でも多くの方に参加してもらっている活動なので、知っておいてほしい。
- ・地域子ども教室で関わった子が、成長して地域の中の活動に参画してくれるようになったということがあった。南畑の良さだと思っている。